



リクルート「ワークス大卒求人倍率調査(2012年卒)」

# 大卒求人倍率は前年の1.28倍から1.23倍に

全体傾向

大企業と中小企業にて、明暗が分かれる

来春2012年3月卒業予定の大学生・大学院生を対象とする、全国の民間企業の求人総数(計画)は、前年の58.2万人よりも22万人減少(▲3.8%)の56.0万人となった。一方、学生の民間企業就職希望者数は、前年(45.6万人)と同水準の45.5万人(800人減少、▲0.2%)となった。(図表1)

よって、需給バランスである求人倍率(求人総数÷民間企業就職者数)は、1.23倍となり、前年の1.28倍から0.05ポイントとわずかに低下した。この倍率は、1996年3月卒(1.08倍)や、2000年

3月卒(0.99倍)ほどには、落ち込まない見通しとなっている。

従業員規模別に見てみよう。

今回、全体の求人総数は減少したが、大企業と中小企業とでは、明暗を分ける傾向が見られた。

従業員規模5000人以上企業では、前年より7.0%のプラスであるのに対して、300人未満企業では前年より9.0%のマイナスとなったのである。(図表2-1)

大企業が増加に転じたのと比べて、中小企業が減少している背景は、リーマン・ショック後の業績回復が遅れているためと、前々年、前年と大卒者の新卒採用を実施したことで、人員が確保できたため、本年は採用を控える企

● 調査概要 ●

調査目的: 2012年3月卒業予定の大学生および大学院生に対する、全国の民間企業の採用予定数から、大卒者の求人倍率を算出し、新卒採用における求人動向の需給バランスを明らかにする。

【企業調査】  
調査対象: 従業員規模5人以上の全国の民間企業7,321社  
調査項目: 2012年3月卒業予定者の採用予定数  
調査期間: 2011年2月23日~3月31日  
回収社数: 4,251社

【学生調査】  
調査対象: 2012年3月卒業予定の大学生・大学院生  
2012年3月卒業予定者を対象とした「就職に関するアンケート」の結果をもとに、従業員規模別、業種別の就職希望者数(第一希望)を推計した。  
集計サンプル数: 大学生 5,394人 大学院生 2,314人  
調査期間: 2011年2月2日~24日

業も見られることが主なことである。

一方、学生の方を見てみると、5000人以上企業では、前年より+2.4%と微増だが、300人未満企業では+19.9%

と、前年に引き続き希望する学生が増加している。(図表2-2)

学生の視線が、大企業から中小企業へ向けられつつあることを示しているのだが、大企業が採用人数を増やすとともに、学生の希望者は増えていることも事実である。

このような背景から、従業員規模別の大卒求人倍率を見ると、求人総数の増減はあるものの、従業員規模間での倍率差は、改善傾向が見られ

るのである。(参考図表1)

中小企業へは入りやすいのか

従業員規模5000人以上企業の大卒求人倍率は、0.49倍であるが、300人未満企業は、3.35倍である。

このことから、300人未満企業の方が、入りやすいと思われるかもしれない。

確かに、数字上ではそうとらえられ

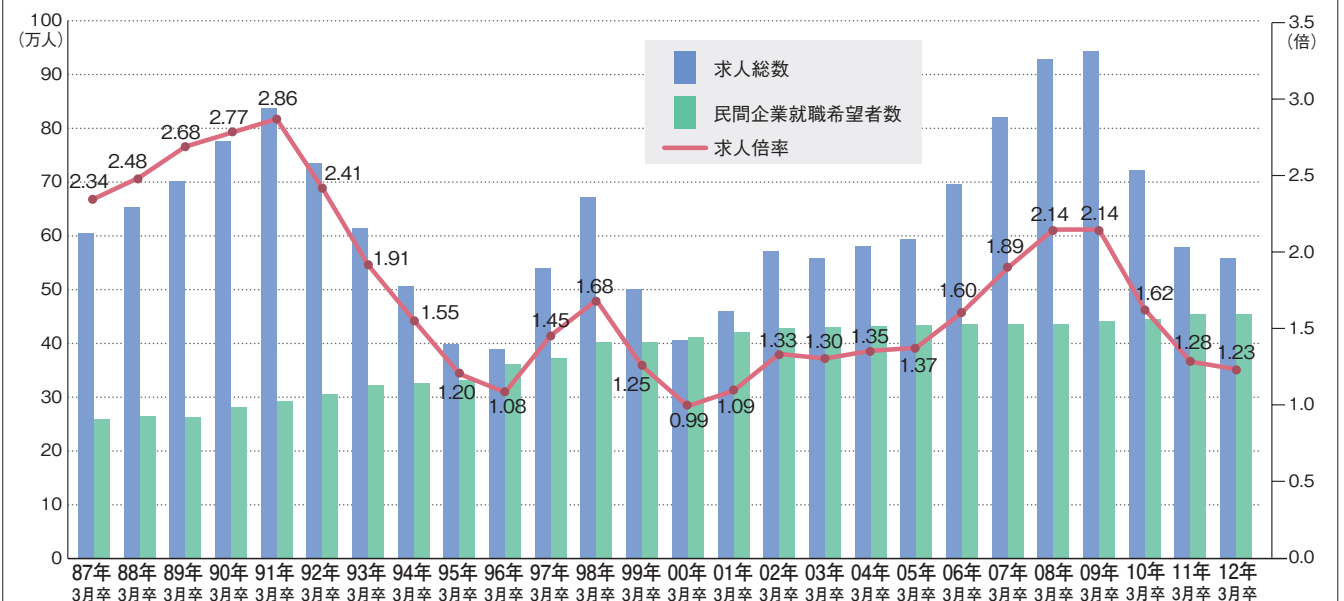
るのだが、本当にそうなのだろうか。

中小企業の人事担当者の声として、応募してくる学生の“勘違い”について耳にする。

それは、「大企業は、採用基準は厳しいが、中小企業は厳しくない」と思っている様子が見受けられるという。

人材の質向上の意向は、大企業の特徴ではなく、中小企業においても、勝ち抜いていくための人材強化の意向がある。そのため、採用基準を下げて

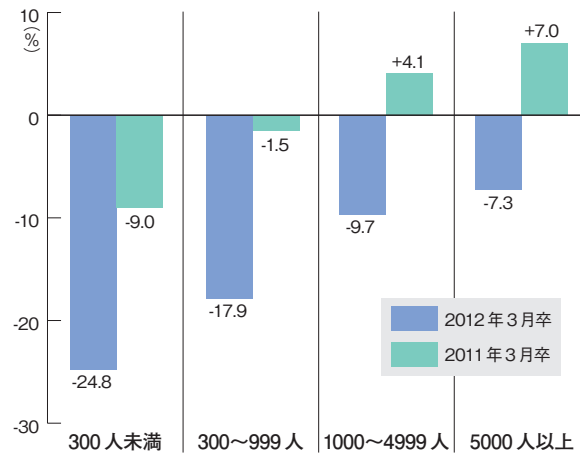
図表1 求人総数・民間企業就職希望者数・大卒求人倍率の推移



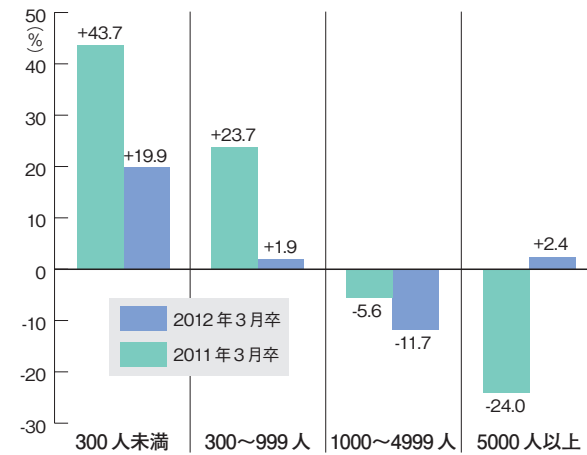
	87年3月卒	88年3月卒	89年3月卒	90年3月卒	91年3月卒	92年3月卒	93年3月卒	94年3月卒	95年3月卒	96年3月卒	97年3月卒	98年3月卒	99年3月卒
求人倍率	2.34倍	2.48倍	2.68倍	2.77倍	2.86倍	2.41倍	1.91倍	1.55倍	1.20倍	1.08倍	1.45倍	1.68倍	1.25倍
求人総数	608,000	655,700	704,100	779,200	840,400	738,100	617,000	507,200	400,400	390,700	541,500	675,200	502,400
対前年増減数	-	+47,700	+48,400	+75,100	+61,200	▲102,300	▲121,100	▲109,800	▲106,800	▲9,700	+150,800	+133,700	▲172,800
対前年増減率	-	+7.8%	+7.4%	+10.7%	+7.90%	▲12.2%	▲16.4%	▲17.8%	▲21.1%	▲2.4%	+38.6%	+24.7%	▲25.6%
民間企業就職希望者数	259,500	264,600	262,800	281,000	293,800	306,200	323,200	326,500	332,800	362,200	373,800	403,000	403,500
対前年増減数	-	+5,100	▲1,800	+18,200	+12,800	+12,400	+17,000	+3,300	+6,300	+29,400	+11,600	+29,200	+500
対前年増減率	-	+2.0%	▲0.7%	+6.9%	+4.6%	+4.2%	+5.6%	+1.0%	+1.9%	+8.8%	+3.2%	+7.8%	+0.1%

	00年3月卒	01年3月卒	02年3月卒	03年3月卒	04年3月卒	05年3月卒	06年3月卒	07年3月卒	08年3月卒	09年3月卒	10年3月卒	11年3月卒	12年3月卒
求人倍率	0.99倍	1.09倍	1.33倍	1.30倍	1.35倍	1.37倍	1.60倍	1.89倍	2.14倍	2.14倍	1.62倍	1.28倍	1.23倍
求人総数	407,800	461,600	573,400	560,100	583,600	596,900	698,800	825,000	932,600	948,000	725,300	581,900	559,700
対前年増減数	-	+53,800	+111,800	▲13,300	+23,500	+13,300	+101,900	+126,200	+107,600	+15,400	▲222,700	▲143,400	▲22,200
対前年増減率	-	+13.2%	+24.2%	▲2.3%	+4.2%	+2.3%	+17.1%	+18.1%	+13.0%	+1.7%	▲23.5%	▲19.8%	▲3.8%
民間企業就職希望者数	412,300	422,000	430,200	430,800	433,700	435,100	436,300	436,900	436,500	443,100	447,000	455,700	454,900
対前年増減数	-	+9,700	+8,200	+600	+2,900	+1,400	+1,200	+600	▲400	+6,600	+3,900	+8,700	▲800
対前年増減率	-	+2.4%	+1.9%	+0.1%	+0.7%	+0.3%	+0.3%	+0.1%	▲0.1%	+1.5%	+0.9%	+1.9%	▲0.2%

図表 2-1 従業員規模別求人総数の増減



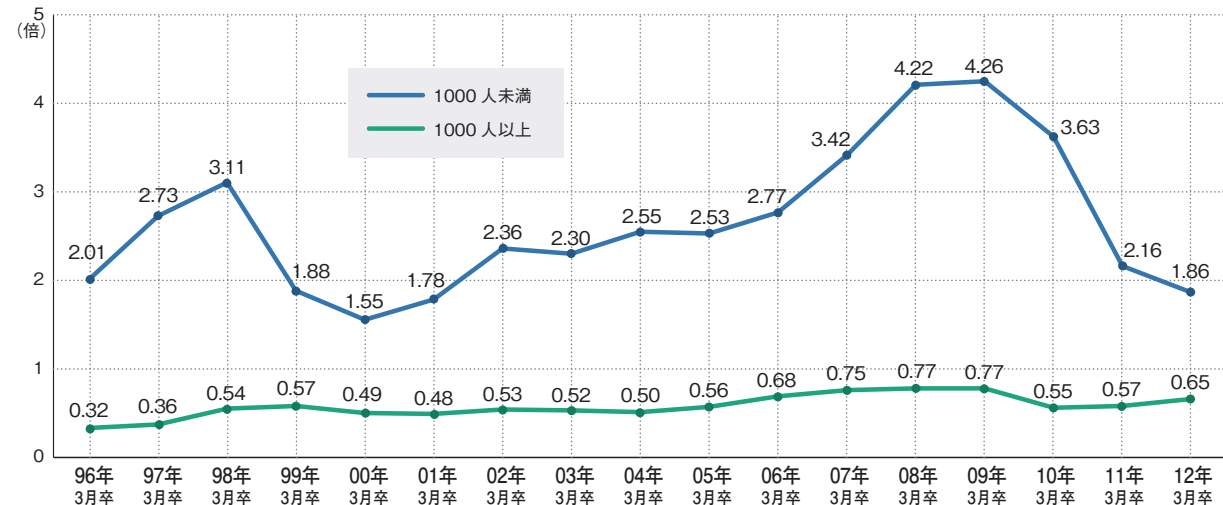
図表 2-2 従業員規模別民間企業就職希望者数の増減



求人総数および民間企業就職希望者数(人)

	[300人未満]			[300~999人]			[1000~4999人]			[5000人以上]		
	10年3月卒	11年3月卒	12年3月卒	10年3月卒	11年3月卒	12年3月卒	10年3月卒	11年3月卒	12年3月卒	10年3月卒	11年3月卒	12年3月卒
求人倍率	8.43倍	4.41倍	3.35倍	1.51倍	1.00倍	0.97倍	0.66倍	0.63倍	0.74倍	0.38倍	0.47倍	0.49倍
求人総数	402,900	303,000	275,700	162,700	133,600	131,600	114,800	103,700	107,900	44,900	41,600	44,500
伸び率	-	-24.8%	-9.0%	-	-17.9%	-1.5%	-	-9.7%	4.1%	-	-7.3%	7.0%
民間企業就職希望者数	47,800	68,700	82,400	108,100	133,700	136,300	174,200	164,400	145,200	116,900	88,900	91,000
伸び率	-	43.7%	19.9%	-	23.7%	1.9%	-	-5.6%	-11.7%	-	-24.0%	2.4%

参考図表 1 従業員規模別大卒求人倍率の推移



求人総数および民間企業就職希望者数(人)

	[1000人未満]								[1000人以上]							
	05年3月卒	06年3月卒	07年3月卒	08年3月卒	09年3月卒	10年3月卒	11年3月卒	12年3月卒	05年3月卒	06年3月卒	07年3月卒	08年3月卒	09年3月卒	10年3月卒	11年3月卒	12年3月卒
求人総数(A)	454,000	534,200	638,300	729,800	739,300	565,600	436,600	407,300	142,900	164,600	186,700	202,800	208,700	159,700	145,300	152,400
対前年増減数	▲2,100	+80,200	+104,100	+91,500	+9,500	▲173,700	▲129,000	▲29,300	+15,400	+21,700	+22,100	+16,100	+5,900	▲49,000	▲14,400	+7,100
対前年増減率	▲0.5%	+17.7%	+19.5%	+14.3%	+1.3%	▲23.5%	▲22.8%	▲6.7%	+12.1%	+15.2%	+13.4%	+8.6%	+2.9%	▲23.5%	▲9.0%	+4.9%
民間企業就職希望者数(B)	179,300	192,900	186,400	173,100	173,700	155,900	202,400	218,700	255,800	243,400	250,500	263,400	269,400	291,100	253,300	236,200
対前年増減数	+200	+13,600	▲6,500	▲13,300	+600	▲17,800	+46,500	+16,300	+1,200	▲12,400	+7,100	+12,900	+6,000	+21,700	▲37,800	▲17,100
対前年増減率	+0.1%	+7.6%	▲3.4%	▲7.1%	+0.3%	▲10.2%	+29.8%	+8.1%	+0.5%	▲4.8%	+2.9%	+5.1%	+2.3%	+8.1%	▲13.0%	▲6.8%
過不足数(B-A)	▲274,700	▲341,300	▲451,900	▲556,700	▲565,600	▲409,700	▲234,200	▲188,600	+112,900	+78,800	+63,800	+60,600	+60,700	+131,400	+108,000	+83,800

まで採用しない意向は、大企業と同等かそれ以上ではないかと思われる。

「1.23倍は非常に厳しい就職環境ではないか」と言われるかもしれないが、中途採用市場の求人倍率は、依然と1倍を下回っていることをご存じだろうか。

企業側に言わせると、企業から見て魅力的な人材は売り手市場であり、優秀な人材の取り合いになっていると感じており、求める学生を採用するため、「採用難」と思っている企業も少な

くない。

企業各社は、グローバル化の波を乗り切るため、人材の質を高めているが、その中で、企業の視線は、外国人学生へ向けられはじめています。

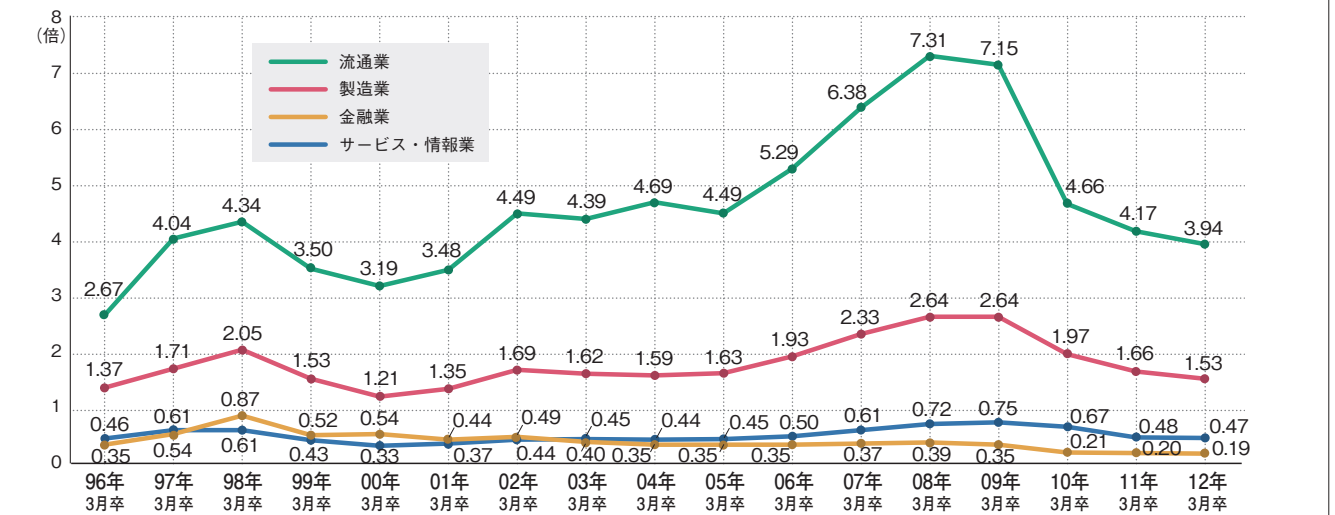
その理由として、面接などで、外国人学生も同席して行われている場面もあるが、その際、どのようなキャリア・パスがあるかなどについての質問や発言を積極的にしている様子が好印象として残り、日本人学生に物足りなさを感じているためだ。

そのため、「新卒だから」のパスが通用しない時代に入っているのは確実ではないだろうか。

エントリーシートや面接などを突破するための小手先の対策に力を入れるのではなく、自分がどう働いていきたいかの、「本質」を考えるべきである。そうすることで、面接の場面でも自分の考えをきちんと述べることができ、企業へも、それが伝わるのではないかとと思われる。

(ワークス研究所研究員 徳永英子)

参考図表 2 業種別大卒求人倍率の推移



求人総数および民間企業就職希望者数(人)

	[製造業]								[流通業]							
	05年3月卒	06年3月卒	07年3月卒	08年3月卒	09年3月卒	10年3月卒	11年3月卒	12年3月卒	05年3月卒	06年3月卒	07年3月卒	08年3月卒	09年3月卒	10年3月卒	11年3月卒	12年3月卒
求人総数(A)	265,300	310,100	371,300	421,600	437,500	318,700	278,400	274,800	237,100	282,900	327,500	363,800	361,100	285,400	204,000	195,700
対前年増減数	+16,900	+44,800	+61,200	+50,300	+15,900	▲118,800	▲40,300	▲3,600	▲1,600	+45,800	+44,600	+36,300	▲2,700	▲75,700	▲81,400	▲8,300
対前年増減率	+6.8%	+16.9%	+19.7%	+13.5%	+3.8%	▲27.2%	▲12.6%	▲1.3%	▲0.7%	+19.3%	+15.8%	+11.1%	▲0.7%	▲21.0%	▲28.5%	▲4.1%
民間企業就職希望者数(B)	162,400	160,600	159,200	159,800	165,900	162,000	168,200	179,900	52,800	53,500	51,300	49,800	50,500	61,300	48,900	49,700
対前年増減数	+6,600	▲1,800	▲1,400	+600	+6,100	▲3,900	+6,200	+11,700	+1,900	+700	▲2,200	▲1,500	+700	+10,800	▲12,400	+800
対前年増減率	+4.2%	▲1.1%	▲0.9%	+0.4%	+3.8%	▲2.4%	+3.8%	+7.0%	+3.7%	+1.3%	▲4.1%	▲2.9%	+1.4%	+21.4%	▲20.2%	+1.6%
過不足数(B-A)	▲102,900	▲149,500	▲212,100	▲261,800	▲271,600	▲156,700	▲110,200	▲94,900	▲184,300	▲229,400	▲276,200	▲314,000	▲310,600	▲224,100	▲155,100	▲146,000

	[金融業]								[サービス・情報業]							
	05年3月卒	06年3月卒	07年3月卒	08年3月卒	09年3月卒	10年3月卒	11年3月卒	12年3月卒	05年3月卒	06年3月卒	07年3月卒	08年3月卒	09年3月卒	10年3月卒	11年3月卒	12年3月卒
求人総数(A)	12,000	13,500	17,100	18,900	18,100	13,100	11,600	10,600	82,500	92,300	109,100	128,300	131,400	108,100	87,900	78,600
対前年増減数	+400	+1,500	+3,600	+1,800	▲800	▲5,000	▲1,500	▲1,000	▲2,500	+9,800	+16,800	+19,200	+3,100	▲23,300	▲20,200	▲9,300
対前年増減率	+3.4%	+12.5%	+26.7%	+10.5%	▲4.2%	▲27.6%	▲11.5%	▲8.6%	▲2.9%	+11.9%	+18.2%	+17.6%	+2.4%	▲17.7%	▲18.7%	▲10.6%
民間企業就職希望者数(B)	34,600	38,400	46,400	47,900	52,300	63,100	57,300	57,000	185,300	183,800	180,000	179,000	174,300	160,600	181,300	168,300
対前年増減数	+1,300	+3,800	+8,000	+1,500	+4,400	+10,800	▲5,800	▲300	▲8,400	▲1,500	▲3,800	▲1,000	▲4,700	▲13,700	+20,700	▲13,000
対前年増減率	+3.9%	+11.0%	+20.8%	+3.2%	+9.2%	+20.7%	▲9.2%	▲0.5%	▲4.3%	▲0.8%	▲2.1%	▲0.6%	▲2.6%	▲7.9%	+12.9%	▲7.2%
過不足数(B-A)	+22,600	+24,900	+29,300	+29,000	+34,200	+50,000	+45,700	+46,400	+102,800	+91,500	+70,900	+50,700	+42,900	+52,500	+93,400	+89,700